

日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所呉地区温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所呉地区

(2) 事業所の所在地

広島県呉市昭和町11番1号

(3) 業種

2231 熱間圧延業(鋼管, 伸鉄を除く)

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25(2013)年度を基準年度とし、令和3(2021)年度から令和12(2030)年度までの10年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂），削減率（％）

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成25年度 (2013)	令和12年度 (2030)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO2	6,309,866	0 (100.0)	1,814,341 71.3	178,264 97.2			
非エネルギー 起源CO2	319,145	0 (100.0)	77,880 75.6	0 100.0			
メタン	4,464	0 (100.0)	1,256 71.9	0 100.0			
一酸化二窒素	3,339	0 (100.0)	616 81.6	77 97.7			
その他 温室効果ガス							
温室効果ガス 実排出量総計	6,636,814	0 (100.0)	1,894,093 71.5	178,341 97.3			
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	高炉・製鋼工場休止および生産量減少に伴い、エネルギー起源CO2は97.2%削減となった。						

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費原 単位 (原油換算 kl)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	燃料使用量の削減	約0.2%削減	生産量に応じた最適な炉稼働
2			
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	廃棄物の削減	数値目標は設定せず	<ul style="list-style-type: none"> ・両面コピー及び裏紙の再利用 ・分別収集によるリサイクル資源化
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。